

施策番号	1003		
施策名	市民との共汗で築く農林業		
概要	市民が農林業に触れる機会を創出するとともに、モデルフォレスト運動など市民と連携した農地・森林の保全活動の推進や、学校教育等での農林業を題材とした学習環境の整備、食育活動の促進を図る。		
担当局・部室	産業観光局・農林振興室	共管局・部室	
上位政策	10 農林業		
施策に関する主な分野別計画等	京都市農林行政基本方針		

### 施策の評価

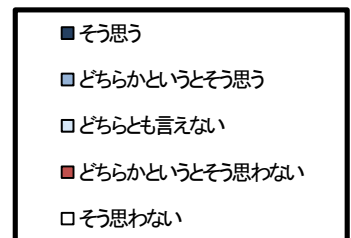
#### 1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 市民農園区画数(区画)	-	a	3,963	4,153	4,155	100.0%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		a	客観指標総合評価				a	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 市民農園や森林を守る運動、学校の体験学習などにより、京都の農林業が身近になってきている。	6 1.2%	63 13.1%	217 45.1%	115 23.9%	80 16.6%	481	d
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
						市民生活実感調査総合評価	d



### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

<b>B</b>	<b>施策の目的がかなり達成されている</b>					23 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	d		
(重み付けの理由) 農林業に関心のない市民にとっては、実感しにくい施策であり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えたため。						年度	-
(原因分析) ・客観指標評価は、市民農園の開設支援や農林業だより、ホームページによる市民農園情報の啓発により、目標値を概ね達成することができ、a評価となった。 ・市民生活実感評価は、市民農園の整備や森林を守る運動等の取組が、現時点では限定的なものであるため、施策の達成度が実感しにくく、d評価になったものと考えられる。 ・このため、総合評価はB評価となった。							

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	農業啓発	30,589	30,249	普通	産業観光局
2	市民と耕す農業支援事業	19,944	19,904	かなり良い	産業観光局
3	農地・水・環境保全向上対策	35,184	36,429	かなり良い	産業観光局
4	農とふれあう総合体験型市民農園整備事業	23,359	16,496	良い	産業観光局
5	京の山柘人工房事業	9,597	9,156	良い	産業観光局
6	北部振興拠点イベント実施	11,898	12,557	悪い	産業観光局
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

- ・総合体験型市民農園の運営やモデルフォレスト運動の推進、また市民への農林業情報の提供を充実させることにより、市民生活においても施策の達成度が実感できるよう取り組む。
- ・市民農園の開設支援により、市民農園區画数の増加を図るとともに、市民が農業を身近に感じられるように取り組む。

施策名	1003	市民との共汗で築く農林業									
指標名	市民農園区画数（区画）										
担当課	農政企画課		連絡先	2 2 2 - 3 3 5 1							
<b>1 指標の説明</b>											
市内で開設された市民農園の設置区画数											
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>								
市民の農林業に対する期待に応えるため、農業に触れる機会創出に向けた取組状況を示す指標			事業担当課調べ								
<b>4 数値</b>											
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度					
	22年度	23年度		数値	根拠						
数値	3,963	4,153	190区画増	4,155	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成20年度現況値（3,825区画）と京都市農林行政基本方針の目標数値（平成31年度5,000区画）から各年度の目標数値を等差的に算出	100.0%					
	全国順位	中長期目標			備考						
		数値	目標年次	達成度							
数値		5,000	31年度	83.1%	京都市農林行政基本方針						
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>							
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満		当該指標については、農業に関心を持つ市民の寄与度が高いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>			23	24	-	a	a
	23	24									
-	a	a									